

様式第2－1号

研修日程表

- (1) 講義、演習、実習を実施する科目
- <注1> 実習を行う日が受講生により異なる場合又は1つの実習が2日以上にわたる場合には、「年月日」欄に「〇年〇月〇日～〇年〇月〇日」と記入し、「時間」欄には、実習期間中最も早い開始時間と最も遅い終了時間を記入すること。また、1つの実習が2日以上にわたる場合には、「日数」欄にその日数を記入すること。
- <注2> 1つの時限で同じ科目内の複数の項目の講義等を行う場合は、同一の時限で講義等を行う全ての項目を記入のうえ、一番上に記入した項目の行にだけ「時間」と各項目の合計時間数を記入し、それ以外の行の「時間」「時間数」欄は空欄とすること。（1つの時限で、異なる複数の科目の講義等を行うことはできません。）
- <注3> 1つの実習で複数の科目・項目の実習を行う場合は、実習を行う全ての科目・項目を記入のうえ、科目ごとに一番上に記入した項目の行にだけ、科目毎の合計時間数を記入し、それ以外の行の「時間数」欄は空欄とすること。（実習については、異なる複数の科目を組み合わせで1つの実習とすることもできます。）
- <注4> 1つの時限を2名の講師（又は講師補助者）で担当する場合は、「講師（補助）②」欄に2人目の講師（又は講師補助者）の「資格」「氏名」を記入すること。
- ※1 「時間数」は、休憩時間を除いた実時間を記入すること。（例：2時間45分の場合 2+45/60=2.75）
- ※2 実習の「時間数」は、1人当たりの実習時間数を記入すること。（実習計画書の「実習時間計」欄の時間数と一致させること。）

年月日 (注)	時間 (注)	時間数 (注)	日数	区分	科目	項目	講師①		講師(補助)②	
	開始 ～ 終了						資格	氏名	資格	氏名
2024年1月14日	9:00 ～ 10:00	1			11 オリエンテーション					
	10:00 ～ 11:00	1		講義	1 職務の理解	(1) 多様なサービスの理解	介護福祉士	鈴木 啓一		
	11:00 ～ 13:10	2		講義	1 職務の理解	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護福祉士	鈴木 啓一		
	14:00 ～ 17:10	3		講義	1 職務の理解	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護福祉士	奥山 まつ		
2024年1月21日	9:30 ～ 10:15	0.75		講義	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(1) 人権と尊厳を支える介護	社会福祉士	長岡 重幸		
	10:15 ～ 11:00	0.75		講義	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(2) 自立に向けた介護	社会福祉士	長岡 重幸		
	11:05 ～ 11:50	0.75		講義	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(1) 介護保険制度	社会福祉士	長岡 重幸		
	11:50 ～ 12:35	0.75		講義	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(3) 障害福祉制度及びその他制度	社会福祉士	長岡 重幸		
	13:30 ～ 13:50	0.3		講義	3 介護の基本	(1) 介護職の役割・専門性と多職種との連携	介護福祉士	鈴木 啓一		
	13:50 ～ 15:20	1.5		講義	3 介護の基本	(2) 介護職の職業倫理	介護福祉士	鈴木 啓一		
	15:25 ～ 16:25	1		講義	3 介護の基本	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	看護師等	井田 満子		
	16:25 ～ 16:40	0.2		講義	3 介護の基本	(4) 介護職の安全	看護師等	井田 満子		
2024年1月28日	9:30 ～ 10:00	0.5		講義	8 障がいの理解	(1) 障がいの基礎的理解	社会福祉士	竹田 雅彦		
	10:00 ～ 11:30	1.5		講義	8 障がいの理解	(2) 障がいの医学的側面・生活障害・心理・行動の特徴・関わり支援等の基礎的知識	社会福祉士	竹田 雅彦		
	11:30 ～ 12:35	1		講義	8 障がいの理解	(3) 家族の心理・関わり支援の理解	介護福祉士	鈴木 啓一		
	13:30 ～ 15:00	1.5		講義	6 老化の理解	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	看護師等	井田 満子		
	15:00 ～ 16:35	1.5		講義	6 老化の理解	(2) 高齢者と健康	看護師等	井田 満子		
2024年2月4日	9:30 ～ 10:30	1		講義	7 認知症の理解	(1) 認知症を取り巻く状況	看護師等	井田 満子		
	10:30 ～ 13:05	2.5		講義	7 認知症の理解	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	看護師等	井田 満子		
	14:00 ～ 15:30	1.5		講義	7 認知症の理解	(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	介護福祉士	奥山 まつ		
	15:30 ～ 16:35	1		講義	7 認知症の理解	(4) 家族への支援	介護福祉士	奥山 まつ		
2024年2月11日	9:30 ～ 11:00	1.5		講義	5 介護におけるコミュニケーション技術	(1) 介護におけるコミュニケーション	介護福祉士	牧 シヅエ		
	11:00 ～ 12:35	1.5		講義	5 介護におけるコミュニケーション技術	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	介護福祉士	牧 シヅエ		
	13:30 ～ 16:35	3		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(1) 介護の基本的な考え方	介護福祉士	牧 シヅエ		
2024年2月18日	9:30 ～ 12:35	3		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	介護福祉士	奥山 まつ		
	13:30 ～ 16:35	3		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	介護福祉士	奥山 まつ		
2024年2月25日	9:30 ～ 12:35	3		演習	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4) 生活と家事	介護福祉士	奥山 まつ		え
	13:30 ～ 16:35	3		演習	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(5) 快適な居住環境整備と介護	介護福祉士	奥山 まつ		え
2024年3月3日	9:30 ～ 16:35	6		演習	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	須賀 文子		え
2024年3月10日	9:30 ～ 16:35	6		演習	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	滝井 江里		え

[illegible]

[illegible]

[illegible]

様式第 2 － 1 号

(2) 通信形式で実施する科目

＜注 1＞「区分」欄には、面接指導を行う科目・項目については「面接」と、それ以外の科目・項目については「通信」と記入すること。

＜注 2＞ 面接指導を行う場合には、面接指導の「年月日」「時間」「時間数」を各欄に記入すること。（面接指導を行わない場合には「年月日」「時間」「時間数」は空欄にすること。）

年月日	時 間	時間数	日数	区分	科 目	項 目	講師 ①		講師（補助）②	
	開始 ～ 終了						資格	氏名	資格	氏名
	～			通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(1) 人権と尊厳を支える介護	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～			通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(2) 自立に向けた介護	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～			通信	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(1) 介護保険制度	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～			通信	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(3) 障害福祉制度及びその他制度	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～			通信	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(2) 医療との連携とリハビリテーション	看護師等	佐藤 ゆう子		
	～			通信	3 介護の基本	(1) 介護職の役割・専門性と多職種との連携	介護福祉士	鈴木 啓一		
	～			通信	3 介護の基本	(2) 介護職の職業倫理	介護福祉士	鈴木 啓一		
	～			通信	3 介護の基本	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	看護師等	井田 満子		
	～			通信	3 介護の基本	(4) 介護職の安全	看護師等	井田 満子		
	～			通信	8 障がいの理解	(1) 障がいの基礎的理解	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～			通信	8 障がいの理解	(2) 障がいの医学的側面・生活障害・心理・行動の特徴・関わり支援等の基礎的知識	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～			通信	8 障がいの理解	(3) 家族の心理・関わり支援の理解	介護福祉士	鈴木 啓一		
	～			通信	6 老化の理解	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	看護師等	佐藤 ゆう子		
	～			通信	6 老化の理解	(2) 高齢者と健康	看護師等	佐藤 ゆう子		
	～			通信	7 認知症の理解	(1) 認知症を取り巻く状況	看護師等	井田 満子		
	～			通信	7 認知症の理解	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	看護師等	井田 満子		
	～			通信	7 認知症の理解	(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	7 認知症の理解	(4) 家族への支援	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	5 介護におけるコミュニケーション技術	(1) 介護におけるコミュニケーション	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	5 介護におけるコミュニケーション技術	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(1) 介護の基本的な考え方	介護福祉士	牧 シヅエ		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4) 生活と家事	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(5) 快適な居住環境整備と介護	介護福祉士	奥山 まつ		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	須賀 文子		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	滝井 江里		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	須賀 文子		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	滝井 江里		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(9) 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	須賀 文子		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	滝井 江里		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(12) 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	介護福祉士	鈴木 啓一		
	～			通信	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(13) 介護過程の基礎的理解	介護福祉士	鈴木 啓一		

様式第 2－ 1 号

(3) 地域性や受講者の希望等を考慮して事業者が追加して実施する科目

年月日	時 間	時間数	日数	区分	科 目	項 目	講師 ①		講師 (補助)②	
	開始 ～ 終了						資格	氏名	資格	氏名
	～					レポート問題 NO.1～NO.4配布				
	～				就業ガイダンス					
	～				レポート問題NO.1提出	介護における尊厳の保持・自立支援	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～					介護の基本	介護福祉士	鈴木 啓一		
	～					レポート問題 NO.1 添削後 (郵送にて返却)				
	～				就業ガイダンス					
	～				レポート問題NO.2提出	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	社会福祉士	竹田 雅彦		
	～					介護におけるコミュニケーション技術	介護福祉士	奥山 まつ		
	～					老化の理解	看護師	佐藤 ゆう子		
	～					レポート問題 NO.2 添削後 (郵送にて返却)				
	～				レポート問題NO.3提出	認知症の理解	看護師	井田 満子		
	～					障害の理解	介護福祉士	鈴木 啓一		
	～				就業ガイダンス					
	～					レポート問題 NO.3 添削後 (郵送にて返却)				
	～				レポート問題NO.4提出	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	奥山 まつ		
	～					死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	介護福祉士	奥山 まつ		
	～					介護過程の基礎的理解	介護福祉士	奥山 まつ		
	～					レポート問題 NO.4 添削後 (郵送にて返却)				
	～				就業ガイダンス					
	～				施設・ディサービスセンター・訪問介護実習	実習希望申し込み書を回収後10回目で実習日程を案内				
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									

《付表1》「日程表」記入内容チェックリスト

① 科目毎の時間数に不足がないか

	科 目	基準時間	基準時間 (通信課程)	講義、演習 実習の時間	審査
OK	1 職務の理解	6	6	6	0.0
OK	2 介護における尊厳の保持・自立支援	9	1.5	1.5	0.0
OK	3 介護の基本	6	3	3	0.0
OK	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	1.5	1.5	0.0
OK	5 介護におけるコミュニケーション技術	6	3	3	0.0
OK	6 老化の理解	6	3	3	0.0
OK	7 認知症の理解	6	3	6	3.0
OK	8 障がいの理解	3	1.5	3	1.5
OK	9 ことごとからだのしくみと生活支援技術	75	63	63	0.0
OK	10 振り返り	4	4	4	0.0
		130	89.5		

② 科目の「項目」は網羅されているか

	項 目	コマ数
OK	1 (1) 多様なサービスの理解	1
OK	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	2
OK	2 (1) 人権と尊厳を支える介護	2
OK	(2) 自立に向けた介護	2
OK	3 (1) 介護職の役割・専門性と多職種との連携	2
OK	(2) 介護職の職業倫理	2
OK	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2
OK	(4) 介護職の安全	2
OK	4 (1) 介護保険制度	2
OK	(2) 医療との連携とリハビリテーション	1
OK	(3) 障害福祉制度及びその他制度	2
OK	5 (1) 介護におけるコミュニケーション	2
OK	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	2
OK	6 (1) 老化に伴うことごとからだの変化と日常	2
OK	(2) 高齢者と健康	2
OK	7 (1) 認知症を取り巻く状況	2
OK	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2
OK	(3) 認知症に伴うことごとからだの変化と日常生活	2
OK	(4) 家族への支援	2
OK	8 (1) 障がいの基礎的理解	2
OK	(2) 障がいの医学的側面・生活障がい・心理・行動の特徴・関わり支援等の基礎的知識	2
OK	(3) 家族の心理・関わり支援の理解	2
OK	9 (1) 介護の基本的な考え方	2
OK	(2) 介護に関することごとのしくみの基礎的理解	2
OK	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	2
OK	(4) 生活と家事	2
OK	(5) 快適な居住環境整備と介護	2
OK	(6) 整容に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	2
OK	(7) 移動・移乗に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	2
OK	(8) 食事に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	2
OK	(9) 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	2
OK	(10) 排泄に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	2
OK	(11) 睡眠に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	2
OK	(12) 死にゆく人に関連したことごとからだのしくみと終末期介護	2
OK	(13) 介護過程の基礎的理解	2
OK	(14) 総合生活支援技術演習	1
OK	10 (1)・振り返り	1
OK	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1

③ 実習を実施するか

実習のコマ数	0
--------	---

④ 「9 ことごとからだのしくみと生活支援技術」の項目毎の時間配分、技術演習の割合

＜内容例で示している時間配分等の目安＞

〔(1)～(3)・・・10～13時間程度、(4)～(12)・・・50～55時間程度、(13)～(14)・・・10～12時間程度
(4)～(12)については、総時間の概ね5～6割を技術演習にあてること。〕

項 目	項目ごとの研修時間数	グループ計	演習時間	演習割合
9 (1) 介護の基本的な考え方	3	9		
(2) 介護に関することごとのしくみの基礎的理解	3			
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3			
(4) 生活と家事	3	43.5	3	100%
(5) 快適な居住環境整備と介護	3		3	
(6) 整容に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	
(7) 移動・移乗に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	
(8) 食事に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	
(9) 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	
(10) 排泄に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	
(11) 睡眠に関連したことごとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	
(12) 死にゆく人に関連したことごとからだのしくみと終末期介護	1.5		1.5	
(13) 介護過程の基礎的理解	4.5	10.5		
(14) 総合生活支援技術演習	6			

※「演習時間」は、演習＋実習の時間数

※ (4)～(12)の学習及び講義の実施方法(該当する場合は○)

	根拠の学習や技術についての講義等の一部（又は全部）を、技術演習の時限内で一体的に実施する。
--	---